

第2章 政策分野における 基本戦略と施策

- 政策分野 1 地域の未来を創る
- 政策分野 2 まちの楽しさを創る
- 政策分野 3 子育て・教育
- 政策分野 4 福祉・健康
- 政策分野 5 産業・経済
- 政策分野 6 防災減災・生活環境





1. かつやまの魅力

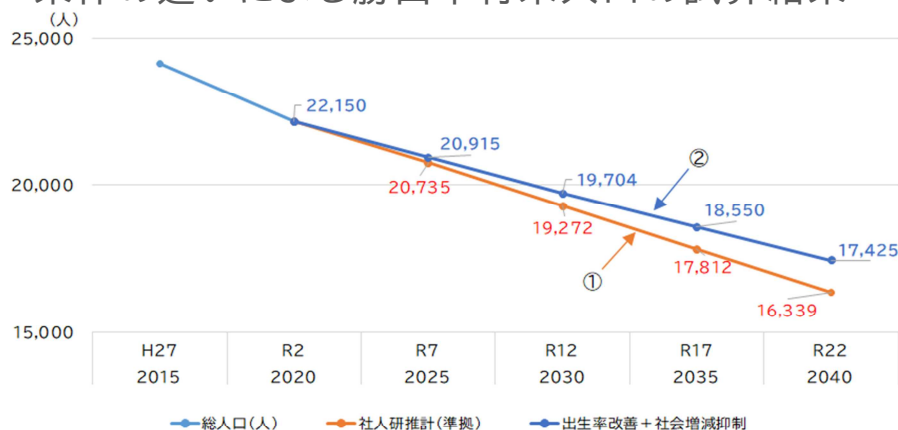
豊かな自然と歴史ある伝統・文化

勝山市は、中心を流れる九頭竜川、周辺を囲む 1,000m 級の山々、市内に生息する希少な動植物をはじめとした豊かな生態系、古くから盛んな農林業による美しい田園風景、歴史ある町家や神社仏閣、自然と調和した集落景観など、豊かな自然と歴史ある伝統・文化にあふれたまちです。

活発な地域コミュニティ

勝山市のコミュニティ※の基盤は、昭和 6 年(1931)に勝山町と合併した猪野瀬村、昭和 29 年(1954)に合併した勝山町、平泉寺村、村岡村、北谷村、野向村、荒土村、北郷村、鹿谷村、遅羽村の旧 1 町 9 箇村を基盤とした 10 地区です。市ではこの 10 地区を地域づくりの単位として捉え、独自の自然や風土、培われてきた特有の伝統・文化を生かした、地域住民が主体となった活動が展開されることで、地域のつながりが保たれています。

条件の違いによる勝山市将来人口の試算結果



- ① 社人研推計(準拠)・・・H30.3月公表の国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口」にR2国勢調査の結果を反映させたもの
 ② 出生率改善+社会増減抑制・・・社会増減を社人研推計から毎年20人抑制し、かつ2040年までに合計特殊出生率を人口置換水準(2.07)まで改善した時とシミュレーション

出典:「勝山市人口ビジョン」 ※H30.3 月公表の国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口」に R2 国勢調査の結果を反映させ市独自で再推計したもの

2.地域の未来を創るための課題

1. 勝山市には、112の集落(区)があり、それぞれ行政区に位置付けられていますが、特に人口および世帯の減少が進む旧村部では、社会奉仕や防災訓練、伝統行事など身近な住民活動の維持が困難になってきています。
2. 区画整理などで世帯数が増えた集落(区)では、若い世代を中心に地域活動への参加が減少しています。
3. また勝山市のコミュニティの基盤となる10地区では、人口減少にあわせて人口構成も大きく変化し、年少人口や生産年齢人口が大きく減少していることから、地域の担い手不足がますます深刻になっており、文化祭や運動会、敬老会、自衛消防など地域活動の継続が困難になりつつあります。
4. 高齢化が進むにつれ、自動車等を運転できない方が増えることが予想される中、暮らしに必要な移動手段が求められています。
5. 雪などの災害時に地域内で対応する相互扶助※の機能が失われつつあります。



地域の未来を創るためのまちづくりの指標

指標名	現状	目標
	(令和 2(2020)年度国調)	(令和 7(2025)年度国調)
勝山市の人口	22,150 人	20,915 人

【設定理由】

地域コミュニティを活性化するには、そこで活躍する人が欠かせないことから、「勝山市人口ビジョン」の推計値(20,735 人)より減少を緩和することで、コミュニティの活性化を図る。

政策目標1

活力あふれる
地域コミュニティを創る



▼ 政策目標を実現するための施策

基本的な
方向性
1

住民が地域を知り学び、地域の自然や景観、歴史・伝統・文化の保存・保護
および活用に取り組めるよう、地域の魅力づくりを支援します。

施策

地域の自然や景観、歴史・伝統・文化の保存・保護活動を支援

具体的な取組

- | | |
|---|---------------------------------|
| ① | 地域住民が主体となって取り組む自然環境の保存・保護活動を支援 |
| ② | 地域住民が主体となって取り組む歴史・伝統の保存・保護活動を支援 |
| ③ | 良好な景観の保存・保護 |
| ④ | 文化財等の調査・研究 |



基本的な
方向性
2

市内10地区の特性を生かし、住民が主体となった小規模多機能自治や地域コミュニティ活動を活性化するための取り組みを支援します。

施策

地域住民主体のコミュニティ活動を支援

具体的な取組

- | | |
|---|-------------------------------------|
| ① | 地域コミュニティで実践できる自主財源確保や資材調達を支援 |
| ② | 地域のリーダー的人材および地域活動の後継者の育成を目的とした研修の実施 |
| ③ | コミュニティ活動が安定的・継続的に活動できるよう財政支援を実施 |

基本的な
方向性
3

地域の想いと主体性を尊重しながら、地域内外との連携促進、外部人材の活用などによる地域コミュニティの活性化を支援します。

施策

地域内外との連携促進および外部人材の活用

具体的な取組

- | | |
|---|--|
| ① | U・Iターン※者を地域活動に巻き込むための情報提供、地域活動への参加の呼びかけを実施 |
| ② | 地域間の連携を促進するネットワークの構築 |
| ③ | 企業やNPO※、学校等と地域の連携手法の確立 |

基本的な
方向性
4

様々な世代が集い、人々がふれあう拠点となるまちづくり会館やコミュニティセンターを整え、住民主体のまちづくり活動を支援します。

施策

コミュニティ活動の拠点となるまちづくり会館を設置

具体的な取組

- | | |
|---|--------------------------|
| ① | 市立公民館に代わってまちづくり会館を設置 |
| ② | 住民の身近な活動拠点としてのまちづくり会館の活用 |
| ③ | 新たな形の地域コミュニティ組織の設立、運営を支援 |

基本的な
方向性
5

地域の魅力向上に向けて、住民とともにジオサイト※や自然遺産、歴史・文化遺産の保全に取り組み、これを教育活動に活用し、シビックプライド※の醸成を通じて地域の担い手を育成します。

施策

ジオパークを生かした住民主体の活動を支援

具体的な取組

- | | |
|---|-----------------------|
| ① | ジオパークに関する講座や自然体験活動を実施 |
| ② | ジオパークを生かした住民主体の活動を支援 |



重要業績評価指標(KPI)

指標名	地域コミュニティの活性化を担う NPO 法人数				
基準年度	目標期間				
R3 実績値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値	R8 目標値
1 組織	目標年次までの期間に 3 組織以上				

(単位:%)

指標名	市民アンケートにおける地区で行う「祭事や祭礼などの伝統行事」に参加している人の割合（積極的に参加、ときどき参加の合計）				
基準年度	目標期間				
R3 実績値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値	R8 目標値
56.1	—	60.0	—	—	65.0

(単位:%)

指標名	市民アンケートにおける市が主催する「ジオパークに関する講座や自然体験活動」に参加している人の割合（積極的に参加、ときどき参加の合計）				
基準年度	目標期間				
R3 実績値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値	R8 目標値
3.3	—	6.0	—	—	10.0

(単位:%)

指標名	中学生へのアンケートにおける「地域の歴史や文化を受け継ぐための活動」に無関心な人数の割合				
基準年度	目標期間				
R3 実績値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値	R8 目標値
61.0	—	—	50.0	—	40.0

政策目標 2

持続可能な集落を創る



▼ 政策目標を実現するための施策

基本的な 方向性 1

単独の集落では対応できなくなってきた防災減災や生活環境の維持活動、伝統行事など、複数集落の共助により支え合える仕組みをつくるとともに、まちづくり会館等を中心として行政協力員の活動を支援する仕組みを構築します。

施策

行政協力員制度および行政区の見直し

具体的な取組

①

小規模な複数の集落による共助が成り立つ行政区の構築および行政協力員の配置

基本的な 方向性 2

従来の行政区単位ごとの行政協力員の配置を見直し、住民が活動しやすい規模で行政協力員を再配置し、新しい単位での自治組織を構築します。

施策

最適な規模の行政区の構築

具体的な取組

①

住民活動の活性化に最適な行政区の構築および行政協力員の配置

基本的な
方向性
3

集落の活動拠点として活用されている集落センター等の整備を支援します。

施策

集落の活動拠点の整備を支援

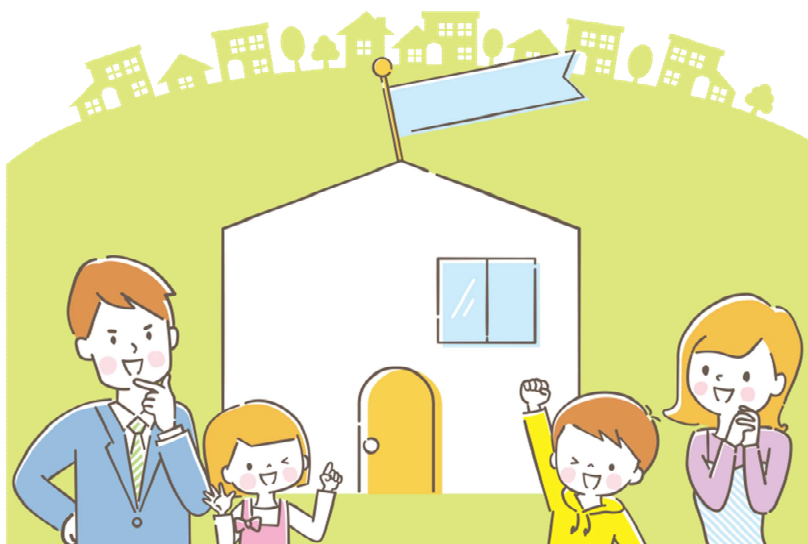
具体的な取組

- ① 各地区集落センター等の新築・改築を支援



重要業績評価指標(KPI)

指標名	最適な規模に見直した行政区の数				
基準年度	目標期間				
R3 実績値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値	R8 目標値
—	目標年次までの期間に 10 地区以上				



政策目標 3

住民主体の
新しい暮らしを創る



▼ 政策目標を実現するための施策

基本的な
方向性
1

住民が主体となって、地域内を効率的に移動する新しい交通手段を構築するなど、生活の利便性向上に取り組めるよう、地域特性や住民ニーズを把握した新しい地域振興を支援します。

施策

地域内交通の構築

具体的な取組

- ① 地域コミュニティによる自家用有償旅客運送等モデル事業の実施
- ② 定時定路線とデマンド交通を組み合わせた公共交通体系の構築

基本的な
方向性
2

雪などの災害から、暮らしの安全安心を確保するため、住民の助け合いを支援するとともに、住民と密接に連携し、まちづくり会館を中核とした小規模多機能自治の確立に向けて、新しい支援体制を構築します。

施策

地域の暮らしを支える共助活動を支援

具体的な取組

- ① 地区が使用できる除雪機をまちづくり会館に配備
- ② 地区や自主防災組織等で実施する除雪活動を支援



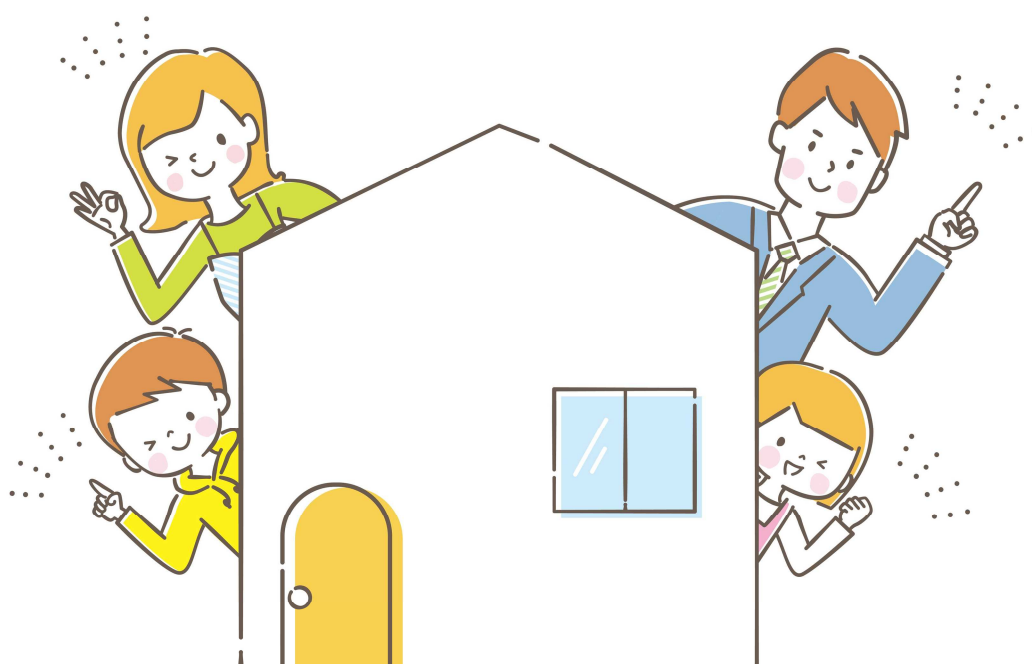
重要業績評価指標(KPI)

(単位:人/年)

指標名	公共交通(コミュニティバス)の利用者数				
基準年度	目標期間				
R3 実績値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値	R8 目標値
42,017	80,000 以上				

(単位:%)

指標名	市民アンケートにおける地区で行う「消防・防災訓練」に参加している人の割合 (積極的に参加、ときどき参加の合計)				
基準年度	目標期間				
R3 実績値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値	R8 目標値
33.5	—	42.0	—	—	50.0





1. かつやまの魅力

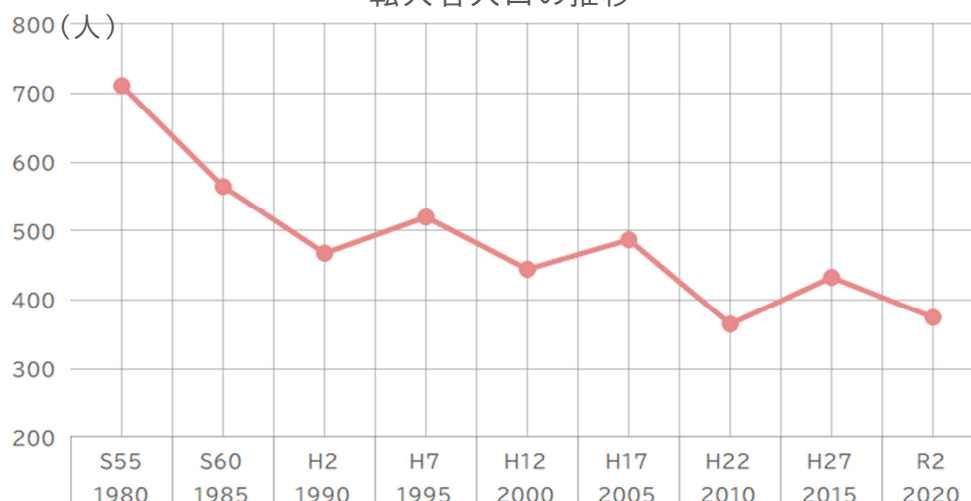
恐竜、ジオパーク

昭和 63 年(1988)夏、勝山市北谷町で肉食恐竜の歯が発見されて以来、日本における恐竜化石のほとんどが勝山市から発掘されています。また平成 12 年(2000)には、国内最大級の地質・古生物学博物館として福井県立恐竜博物館がオープンしました。また地球活動の歴史、自然と生き物の関わり、大地の恵みを利用する人々の暮らしや歴史・文化、産業などを楽しく学ぶことができる地域として、市内全域が平成21年(2009)に「恐竜溪谷 ふくい勝山ジオパーク」として日本ジオパークに認定されています。

住民が掘り起こした地域の魅力

地域コミュニティを中心に、独自の自然や風土、伝統や歴史、そしてこの地に培われてきた特有の文化などを生かしたまちづくりを推進してきたことで、地域住民が主体となって 100 を超える事業が実施されました。この中から、冬の名物「北谷の鯖の熟れ(なれ)ずし」や食用油の「野向のエゴマ」などが、商品化されてコミュニティビジネス※へと発展しています。

転入者人口の推移



出典：勝山市のすがた

2. まちの楽しさを創るための課題

1. 地域資源である豊かな自然や美しい景観、歴史・伝統・文化など、これまで保存・活用してきたものを継承しながら、今後は、さらに積極的な活用にシフトしていく必要があります。
2. 地域資源を活用し地域の魅力を高め、シティプロモーション※など情報発信を強化するとともに、地域外の人々の個人的なニーズを調査・研究し、市民、事業者、行政等が連携して受け入れる体制を整える必要があります。
3. コミュニティビジネスなどを生かし、地域の人々と地域外の人々の交流を活性化することで、地域とつながる機会をつくり、地域課題の解決等に継続的に関わる関係人口※を生み出し、関係人口から将来的な地域の担い手を創出する必要があります。
4. 「人生 100 年時代※」の到来を見据え、学び直しや働き直しができる環境を整え、いつでも、誰でも「やってみたい」にチャレンジできる仕組みをつくる必要があります。



まちの楽しさを創るためのまちづくりの指標

指標名	現状	目標
	(令和 2(2020)年度調査)	(令和 7(2025)年度調査)
年間転入者数	375 人	目標年次までの期間 年平均 430 人以上

【設定理由】

地域内外との交流を活性化することで関係人口を増加し、転入者の増加を図る。

政策目標1

多彩な交流による
にぎわいとつながりを創る



▼ 政策目標を実現するための施策

基本的な
方向性
1

勝山市のあらゆる地域資源を磨き上げ生かすことで、多彩な学びや触れ合いの機会をつくり、地域への理解と価値を共有することで、勝山ならではの交流を促進します。

施策

地域資源の磨き上げおよび活用

具体的な取組

- ① 地域住民が主体となって取り組む歴史文化を生かした活動を支援
- ② 小中学校における自然・文化・歴史・伝統等を題材とした ESD※を実施
- ③ 文化財関連施設を活用した学習・交流・地域づくりの機会を創出
- ④ 日本遺産の魅力を伝えるガイドの養成およびシンポジウム等の開催



基本的な
方向性
2

勝山市を訪れる動機付けとなるよう積極的な情報発信を行いつつ地域外の人々のニーズに応じた地域資源の活用に取り組み、地域内外の人々の交流を活性化するため市民、事業者、行政等が連携して受け入れる体制を整えます。

施策

情報発信の強化および交流の活性化

具体的な取組

- | | |
|---|---------------------------------|
| ① | SNS※等デジタルコンテンツ※を積極的に活用した情報発信を実施 |
| ② | ホームページの情報を管理し地域資源等にかかる情報発信を一元化 |
| ③ | 地域資源を体験できる場・機会を創出 |

基本的な
方向性
3

地域内外の交流を活性化することで、地域課題の解決等に継続的に関わるきっかけを創出し、将来的な地域づくりの担い手となるような関係人口を増やします。

施策

関係人口の創出および担い手の育成

具体的な取組

- | | |
|---|--|
| ① | サテライトオフィス※やワーケーション、ダブルワーク※などの誘致による交流の機会を創出 |
| ② | 地域づくりに関するインターンシップ※などを受け入れられる体制を構築 |

基本的な
方向性
4

関係人口との関係をより強く、深くするため、目的に応じた関わり方ができる
よう地域と関係人口のマッチングに取り組めます。

施策

関係人口との関わりを強化

具体的な取組

- | | |
|---|--|
| ① | 関係人口と地域のまちづくり団体や NPO 法人、事業者とのマッチングを行うネットワークを構築 |
| ② | 課題解決や商品開発など地域づくりに関わるミッション提供型長期インターンシップ※を実施 |

基本的な
方向性
5

ジオパークの学術的価値の向上に向けて、高等教育機関との連携を進めます。

施策

ジオパークを生かした連携を強化

具体的な取組

- | | |
|---|----------------------|
| ① | ジオパークを生かした官学の連携体制を構築 |
|---|----------------------|



重要業績評価指標(KPI)

(単位:回)

指標名	県外市外から外部人材を招聘して実施した地域づくり活動数				
基準年度	目標期間				
R3 実績値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値	R8 目標値
2	3	4	5	6	7

指標名	人のマッチングを行うネットワークの設立数				
基準年度	目標期間				
R3 実績値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値	R8 目標値
—	目標年次の期間までに 3 ネットワーク以上				



政策目標 2

やりたいことに
挑戦できるまちを創る



▼ 政策目標を実現するための施策

基本的な
方向性
1

市民が主体的に取り組むまちづくり活動を支援します。

施策

各種団体・グループなどの自主的活動を支援

具体的な取組

- ① 各種団体・グループの育成および活動を支援

基本的な
方向性
2

市民一人ひとりが、生涯にわたって主体的に学び続けるための学習機会を通して、まちづくり会館およびコミュニティセンターを拠点とした地域活動の担い手となる人材育成に取り組めます。

施策

学習環境・機会の充実

具体的な取組

- ① リカレント教育※など市民のニーズに応じた学習機会を提供
- ② ICT※等の技術を活用した学びやすい環境の整備

基本的な
方向性
3

地域に残る伝統行事や伝統芸能など伝統文化の保存・継承を支援するとともに、市民の文化芸術活動を支援します。

施策

伝統文化、文化芸術活動の振興と継承を支援

具体的な取組

- | |
|-------------------------|
| ① 地域に残る伝統文化の担い手育成を支援 |
| ② 市民の文化芸術活動の振興と担い手育成を支援 |

基本的な
方向性
4

高齢者の生きがいとなる趣味活動やボランティア活動、就労的活動などが継続できるよう支援します。

施策

高齢者の活動を支援

具体的な取組

- | |
|-----------------------|
| ① 老人クラブなどの高齢者団体の活動を支援 |
| ② 高齢者の健康づくりを支援 |
| ③ 高齢者の就労的活動を支援 |

基本的な
方向性
5

様々な知識や経験を持つ高齢者が活躍できる仕組みづくりや、能力に応じた活躍の場を設けることで、高齢者の役割と居場所づくりに取り組みます。

施策

高齢者と若い世代の交流を支援

具体的な取組

- | | |
|---|------------------------------|
| ① | 高齢者と若い世代が気軽に交流できる機会を創出 |
| ② | 高齢者の知識、経験を若い世代につたえる仕組みを構築 |
| ③ | 世代を問わず気軽に訪れることができる地域のたまり場を整備 |

基本的な
方向性
6

障害のある人が、地域で自立し豊かな生活ができるように、就労的活動や文化芸術活動、スポーツ活動を通じた生きがいの支援に取り組めます。

施策

障害者の尊厳と多様性が受け入れられる社会の構築

具体的な取組

- | | |
|---|----------------------|
| ① | 障害者の地域活動、就労を支援 |
| ② | 障害者に対する理解を深める取り組みを実施 |

基本的な
方向性
7

男女における性別役割分担意識だけでなく、LGBT など性の多様な価値観に対する理解促進に取り組み、誰もが活躍できる自由と多様性にあふれた社会づくりに取り組みます。

施策

多様性を生かす社会の構築

具体的な取組

- | | |
|---|---------------------------|
| ① | 多様性に対する理解を深める啓発活動や学習活動を実施 |
| ② | 個性を認め合い思いやりを育む啓発活動を実施 |
| ③ | 一人ひとりの活躍を支える制度・仕組みを構築 |

基本的な
方向性
8

勝山市の魅力を生かした起業などのチャレンジを支援します。

施策

創業へのチャレンジを支援

具体的な取組

- | | |
|---|--|
| ① | 勝山商工会議所と連携し、起業に関するセミナーの開催および個別指導などの支援を拡充 |
|---|--|

基本的な
方向性
9

ジオパークなど勝山の特性を生かした自然体験学習を進め、市民の環境意識とふるさとへの自信と誇りを醸成し、地域資源の保全とともに地域の活性化を進めます。

施策

ジオパークに関する情報発信を強化

具体的な取組

- ① 市内外にジオパークの価値を発信
- ② ジオパークに関する講座や自然体験活動を実施(再掲)
- ③ ジオパークを生かした住民主体の活動を支援(再掲)





重要業績評価指標(KPI)

(単位: %)

指標名	市民アンケートにおける市が主催する「市民総合大学」に参加している人の割合（積極的に参加、ときどき参加の合計）				
基準年度	目標期間				
R2 実績値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値	R8 目標値
2.2	—	6.0	—	—	10.0

(単位: %)

指標名	市民アンケートにおける市が主催する「文化・芸術に関するイベント」に参加している人の割合（積極的に参加、ときどき参加の合計）				
基準年度	目標期間				
R2 実績値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値	R8 目標値
8.7	—	15.0	—	—	20.0

指標名	認定創業支援等事業計画に基づく創業者数				
基準年度	目標期間				
R3 実績値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値	R8 目標値
3 件	目標年次までの期間 毎年 3 件以上				